新入職員の方々へ

- リスクマネジメント　risk management
- ほうれんそう＆おひたし
- プロフェッショナリズム　professionalism

社会福祉法人　東京弘済園
理事長　　羽井佐 利彦（はいさ としひこ）
医師、医学博士
脳神経外科専門医
脳卒中専門医
脊髄外科認定医、脊椎脊髄外科専門医
介護支援専門員（2020年再研修）

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

事故

列車の脱線事故:

JR福知山線(2005年 4月25日): 107人死亡

JR羽越本線(2005年12月25日): 5人死亡

飛行機の墜落: 御巣鷹山(1985年): 520人死亡

自動車事故:87歳が東池袋で(2019年): 2人死亡

医療事故:

介護事故:

重大事故の 6～8割 は 人為ミス human error

JAL123便: 御巣鷹山(1985年): 520人死亡

(1) 14版 毎月曜日 朝日新聞 1985年(昭和60年)8月13日 火曜日 35777号 (日刊)

524人乗り日航機墜落

長野・群馬県境で炎上

羽田発大阪行き 大破、全員絶望か

「ドア破損」と連絡直後

燃える機体

河太

朝日新聞

朝日新聞東京本社

レンゴー

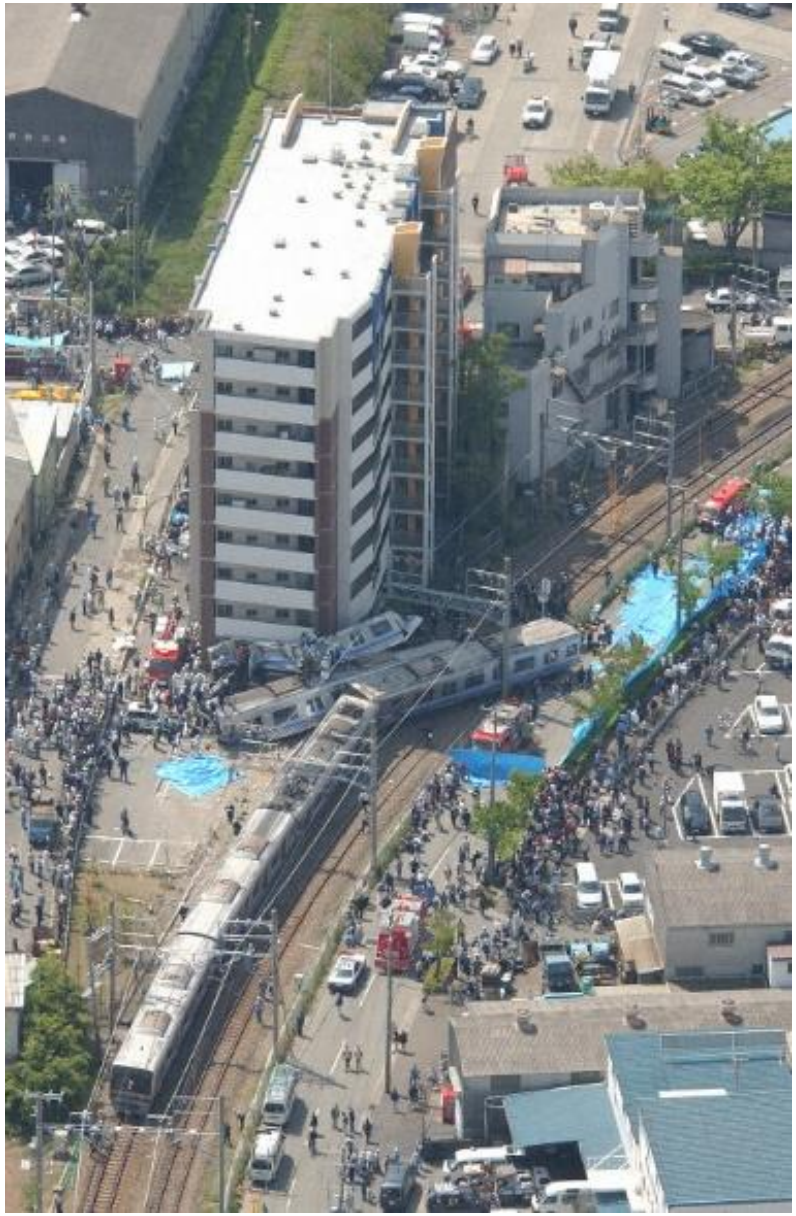
段ボールと包装システムの

レンゴー株式会社

主な記事から

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

JR福知山線（2005年 4月25日）: 107人死亡



2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

JR羽越本線（2005年12月25日）:　5人死亡

特急脱線事故で明らかになった気象現象とは！？

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

安全システム/リスクマネジメントの原則

「人は誰でも間違える」ことを前提とする

To Err is Human

事故につながるミスの確率を最小限にする

ミスや故障が事故に結びつかないようにする

事故が起きた時の被害を最小限にする

・リスクの特定→分析→評価→改善

・個人を責めず、再発防止を考える

某病院での薬のミス： 90歳代の女性

自宅玄関で転倒して来院し、頭蓋内出血で入院

薬剤師がお薬手帳を見て電カルに代行入力

医師が処方内容を確認し、決定→処方箋発行

翌日中々目が覚めない

頭部CTでは、出血の程度は同じ

薬剤部から電話 「薬の量が間違っていました」

家族に説明

翌々日に退院 「グッスリ眠れて良かったです」

某病院での薬のミス： 90歳代の女性

自宅玄関で転倒して来院し、頭蓋内出血で入院

薬剤師がお薬手帳を見て電カルに代行入力

医師が処方内容を確認し、決定→処方箋発行

翌日中々目が覚めない

頭部CTでは、出血の程度は同じ

薬剤部から電話 「薬の量が間違っていました」

家族に説明

翌々日に退院 「グッスリ眠れて良かったです」

某病院での薬のミス:　90歳代の女性

事実関係

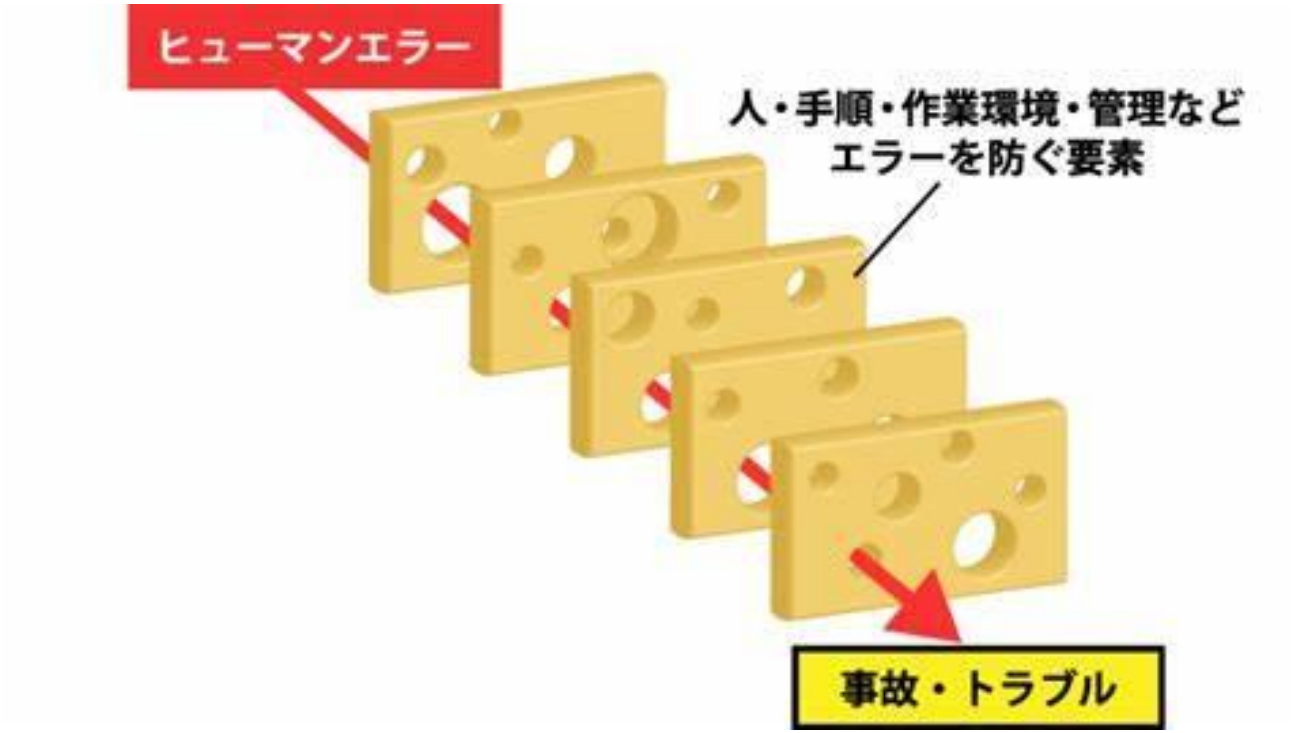
薬剤師Aがお薬手帳等を見て処方箋を仮入力

かかりつけの医院に電話して確認

医師が仮入力された処方箋を確認して決定

薬剤師Bが処方箋を見て薬を出した

スイスチーズモデル Swiss cheese model



薬剤師Aがお薬手帳等を見て処方箋を仮入力

医師が仮入力された処方箋を確認して決定

薬剤師Bが処方箋を見て薬を出した

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

某病院での薬のミス: 90歳代の女性

デパス(0.5) 1錠 分1(眠前) 成分で 0.5mg

デパス(1) 1錠 分1(眠前) 成分で 1mg

この患者の処方箋では

デパス細粒1% ***0.5g*** 分1(眠前) 成分で 5mg

デパス: 睡眠障害、神経症、うつ病、心身症

頚椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛

: 成人で ～3mg/日、高齢者で ～1.5mg/日

薬剤師法第23条

薬剤師は、医師、歯科医師又は獣医師の処方せんによらなければ、販売又は授与の目的で調剤してはならない。
２ 薬剤師は、処方せんに記載された医薬品につき、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師の同意を得た場合を除くほか、これを変更して調剤してはならない。

薬剤師法第25条の2

薬剤師は、販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又は現にその看護に当たっている者に対し、調剤した薬剤の適正な使用のために必要な情報を提供しなければならない。

食物アレルギー事件（調布市）:

乳製品にアレルギーの小学校5年生 女児

2012年12月20日 献立はチーズ**入り**チヂミ

調理員がチーズ**抜き**のチヂミを手渡した

おかわりを希望　「給食完食」をクラス目標にしていた

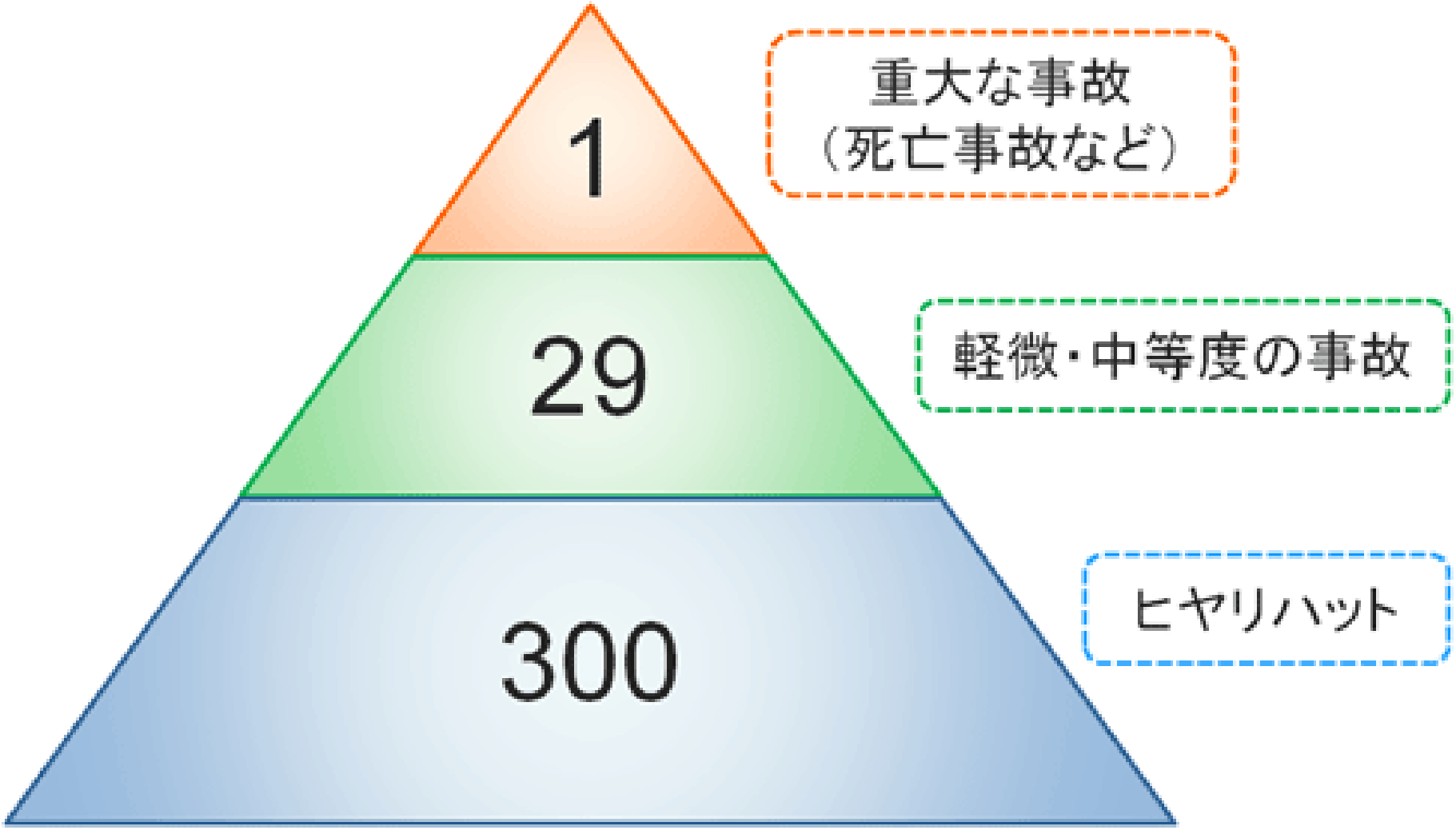
担任教諭がチーズ**入り**チヂミを手渡した

「これ大丈夫か？」

食べた直後にアナフィラキシーショック

同日夕方 病院で死亡

ハインリッヒ Heinrich (1886-1962) の法則



2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

円滑な職場コミュニケーションのために

ほうれんそうのおひたし

働く人の心得

はたらく中で気づいたら

ほう 報告
- タイミングよく
- 分かりやすく
- 言いにくいことも

れん 連絡
- 正確に
- 遅れなく
- 緊急時にも落ち着いて

そう 相談
- 相手を選んで
- 具体的に
- 一人で悩まず

ポイントを押さえた **ほう・れん・そう** で、

職場にコミュニケーションが生まれます。

上司・先輩の心がけ

後輩やスタッフから ほう・れん・そうを受けたら

お 怒らない

ひ 否定しない

た 助ける

し 指示する

お・ひ・た・し を、上司や先輩が心掛けることで、

後輩や、スタッフの **ほう・れん・そう** が育ちます。

「ほうれんそうのおひたし」で、
スムーズな情報共有 & 働きやすい職場作り！

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

円滑な職場コミュニケーションのために

ほうれんそうのおひたし

働く人の心得

はたらく中で気づいたら

ほう	報告	・タイミングよく ・分かりやすく ・言いにくいことも
れん	連絡	・正確に ・遅れなく ・緊急時にも落ち着いて
そう	相談	・相手を選んで ・具体的に ・一人で悩まず

ポイントを押さえた **ほう・れん・そう** で、

職場にコミュニケーションが生まれます。

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

上司・先輩の心がけ

後輩やスタッフから
ほう・れん・そうを受けたら

おひたし

怒らない
否定しない
助ける
指示する

お・ひ・た・し を、上司や先輩が心掛けることで、
後輩や、スタッフの **ほう・れん・そう** が育ちます。

「ほうれんそうのおひたし」で、
スムーズな情報共有　&　働きやすい職場作り！

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

プロ十訓

一、プロとは仕事に命を賭ける人
二、不可能を可能にする人
三、自分の仕事に誇りを持つ人
四、先きを読んで働く人
五、焦らず急がず慌てない人
六、時間を有効に活かせる人
七、笑顔できわやかに我慢のできる人
八、甘えのない人
九、能力向上のために常に努力する人
十、前進前向きちょっぴり反省のできる人

平成八年十一月吉日
八十二翁 [illegible]

プ ロ 十 訓

一. プロとは仕事に命を賭ける人
二. 不可能を可能にする人
三. 自分の仕事に誇りを持つ人
四. 先を読んで働く人
五. 焦らず急がず慌てない人
六. 時間を有効に活かせる人
七. 笑顔でさわやかに我慢のできる人
八. 甘えのない人
九. 能力向上のために常に努力する人
十. 前進前向きちょっぴり反省のできる人

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

2020年1月15日　読売新聞

赤木春恵　2018年11月、94歳で逝去

野杁（のいり）泉さんの　ケアノート

ホーム入所めぐり葛藤

母・赤木春恵　ほほ笑み「行くわ」

女優の赤木春恵さんは2018年11月、94歳で亡くなりました。長く映画やテレビ、舞台で活躍しましたが、91歳の時に自宅で転倒して大腿骨を骨折し、介護施設への入所を決断しました。生活も仕事も支えた長女の野杁（のいり）泉さん（62）は「最期まで我慢強く、周囲を気遣う母でした」と振り返ります。

母が自宅で転んだのは15年9月のこと。湯飲みを手に、つえをついて台所から居間に戻る途中でバランスを崩したのです。痛みを訴える母を病院に連れていき、大腿骨の骨折がわかり、入院しました。

私たち一家は母とずっと同居してきました。舞台で足を酷使してひざが悪く、20年前に自宅1階をバリアフリーに改修。転倒する前はつえや歩行器、手すりを使い、できることは自分でしていました。

もし、母に歩かせず、何もさせなければ事故は防げたかもしれない。でも、それでは生きる意欲をそぐことにもなりかねない。介護の場ではどうにもならないことが起きるのだと思い知らされました。

《赤木さんは松竹の女優としてデビュー。テレビドラマ「3年B組金八先生」の校長役や「渡る世間は鬼ばかり」の姑（しゅうとめ）役などで親しまれた。88歳で映画「ペコロスの母に会いに行く」に初主演した》

たわけではなく、戦時は慰問劇団に参加するなど苦労してきた人。穏やかで包容力があり、懸命に歩んできた人生観が仕事にも表れていました。

私は2人の子育てをしながら、公私ともに母をサポートしてきました。80歳を過ぎて乳がんを患った母は、幸い仕事に復帰できたものの自力で移動することが難しくなり、私が撮影現場に付き添いました。母ができない動きを制作スタッフに伝え、演出や美術で配慮してもらいました。

「ペコロス――」では認知症を患う母親役で、母は「ありのままの自分で演じ切る」と撮影に臨みました。母には認知症になった実母を介護した経験もあり、演技に生かされたのだと思います。カメラの前でしっかりと立って歩く姿に驚かされました。

《初主演映画の撮影が終わる頃、赤木さんは「要支援1」の介護認定を受けた》

介護認定を受けようと思ったきっかけは、入浴介助をしていた時。母が転ばないように必死で体を支え、湯船に入れたり髪や体を洗ったりと、日々の力仕事に「先々、家族だけで介護するのは厳しい」と痛感したからです。地域包括支援センターを訪ねて手続きし、在宅医療や訪問リハビリも利用しました。けれど、骨折してしまい、入院先の医師から「手術しても歩くのは難しい」と告げられました。「要介護4」となり、入院は2か月に及びました。

その間、母が退院したら一緒にいられるようにと考え、私の仕事場を事務所から自宅2階に移しました。でも、一時帰宅の際、トイレ介助まで必要になるなど今までとは違う段階に入ったと実感。医師からも「在宅介護は先は長く、限界が来る」「介護施設でリハビリをした方がいい」と施設入所を勧められ、葛藤しました。母の大好きな自宅で長く過ごさせてあげたい、けれど、私では母が安心できる介護ができない――と。

母は常々、「周囲の目を気にして、何が何でも自宅で介護という選択はしないでね」と言っていました。胸の内を洗いざらい話すと、母はほほ笑んで「いいわ、行くわ」と答えました。申し訳ないという私の気持ちも察して、即決してくれたのだと思います。

《退院と同時に、赤木さんは住宅型有料老人ホームに居した。ホームでの2年間、野杁さんは毎日のように施設に訪れた》

在宅医療でお世話になった医師に紹介してもらったホームで、自宅から車で10分というのも安心でした。人と接するのが好きな母は職員の皆さんを信頼して過ごしていました。寝たきりになるのを防ぐため、自走式の車いすを買い、座った姿勢を保てるようリハビリをする日々でした。

不機嫌そうにしたり、愚痴を言ったりしない母です。会に行くと、「無理をしないで。私のことはいいから」と逆に気遣ってくれました。

食が細くなり、体調を崩して、18年1月に病院に移りました。本人の強い希望で延命治療はしませんでした。ずっと一緒に生きてきた母。別れが来たらと考えると、私はどうしたらいいのかと怖かった。でも、母がゆるやかに終末へ向かえたことで、心の準備ができたように思います。

寂しさも、最期まで自宅で生活させてあげられなかった後悔も消えないけれど、「大丈夫だよ、ママ」と言えるよう、前を向いて生きていこうと思っています。

母は『大丈夫。どんなに苦しいことがあっても、いい時が必ず来るから』と、私を励ましてくれました」（東京都内で）＝小林武仁撮影

のいり・いずみ　1957年、東京都市生まれ。私立堀越高校卒業後、86年に結婚。夫が91年設立した俳優のマネジメント事務所「オフィスのいり」の事務を担当。昨年12月、介護の日々をつづった「大丈夫、いるようになるから。」（世界文化社）を赤木さんとの共著として出版した。

自宅で母の赤木春恵さん（左）、愛犬「レディ」と納まった写真（2011年撮影、野杁さん提供）

母が自宅で転んだのは･･･
大腿骨の骨折がわかり、入院

もし、母に歩かせず、何もさせなければ事故は防げたかもしれない。
でも、それでは生きる意欲をそぐことにもなりかねない。

介護の場ではどうにもならないことが起きる

のだと思い知らされました。

3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市

ご清聴ありがとうございました

老年の最大の報酬は、精神の自由だ。
（サマセット・モーム）

ランプがまだ燃えているうちに、人生を愉しみ給え。
（ウステリ）

人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ。
（ロバート・フルガム）

老いは成長でもなく退歩でもない、ただ「変化」である。
（萩原朔太郎）

飛行機は飛び立つ時より着地が難しい。人生も同じだよ。
（本田宗一郎）

2022年3月22日、東京弘済園 新入職員研修、三鷹市